

| | | | | | | | | | |
|------------------|---|------|----|---------|--|------|--|-----|--|
| 講義コード | 11C0380101 | 授業形態 | 演習 | 事前登録の有無 | なし | 担当教員 | | 開講期 | |
| 科目名 | 統計処理法(再履修) | | | | 城所 弘泰 | | | 通年 | |
| 履修前提条件 | | | | | 備考 | | | | |
| 授業の目的 | <p>経済学を学ぶものにとって、その学問的性格から、数値処理とりわけ統計処理の能力育成は不可欠である。本授業はコンピュータ初心者を対象とし、高度情報ネットワーク社会におけるデータ処理の基礎的能力を養成するための、実習主体の授業である。</p> | | | | | | | | |
| 到達目標 | <p>近年、社会で広く一般的基礎能力とされている数値処理技術を習得することができる。さらに、これからの高度情報時代に生ずる様々な問題点を発見する眼を養い、その問題を解決するための情報処理技術を習得するための基礎を作ることができる。</p> <p>また毎週自主的に予習復習を行い、決められた課題等を授業中あるいは期日までに処理し提出することを通して、大学での学習生活の基本的習慣をつけることができる。</p> | | | | | | | | |
| 授業外学修内容・授業外学修時間数 | <p>この科目では30時間以上の授業外学修を行うこと。</p> <p>各回の授業で扱う項目について、授業後に復習し再度演習をして理解を深めること。</p> <p>e-Learning という PC を使った自習用教材を宿題に課すこともある。</p> | | | | | | | | |
| 授業計画 | <p>【第1回】 ガイダンス</p> <p>【第2回】 コンピュータ操作の基礎</p> <p>【第3回】 統計的数値処理とは？</p> <p>【第4回】 表計算ソフトの基本</p> <p>【第5回】 数式と作表（1）</p> <p>【第6回】 数式と作表（2）</p> <p>【第7回】 書式設定と表示形式</p> <p>【第8回】 グラフ（1）</p> <p>【第9回】 グラフ（2）</p> <p>【第10回】 絶対参照と相対参照（1）</p> <p>【第11回】 絶対参照と相対参照（2）</p> <p>【第12回】 関数の基礎（1）</p> <p>【第13回】 関数の基礎（2）</p> <p>【第14回】 関数の基礎（3）</p> <p>【第15回】 前期のまとめ</p> | | | | <p>【第16回】 ガイダンス</p> <p>【第17回】 関数の応用（1）</p> <p>【第18回】 関数の応用（2）</p> <p>【第19回】 関数の応用（3）</p> <p>【第20回】 データベースの機能（1）</p> <p>【第21回】 データベースの機能（2）</p> <p>【第22回】 ピボットテーブル（1）</p> <p>【第23回】 ピボットテーブル（2）</p> <p>【第24回】 データベース関数</p> <p>【第25回】 ファイルの相互利用（1）</p> <p>【第26回】 ファイルの相互利用（2）</p> <p>【第27回】 統計学的データ処理</p> <p>【第28回】 多変量解析の入門（1）</p> <p>【第29回】 多変量解析の入門（2）</p> <p>【第30回】 後期のまとめ</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | 課題、レポート、学期末定期試験の結果、授業への取り組み姿勢から到達目標への到達度を評価する。 | | | | | | | | |
| フィードバックの内容 | 重要な課題について授業中に解答例を見せて解説する。 | | | | | | | | |
| 教科書 | 『情報文化スキル第3版 - Windows8.1&Office2013対応 -』城所弘泰・井上彰宏・今井賢（オーム社）2014年 | | | | | | | | |
| 指定図書 | | | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | | | |
| 教員からのお知らせ | 学籍番号によってクラス分けされているので自分がどのクラス（曜日・時限）に配属されているか確認してから履修登録をすること。必修科目（卒業要件に必要な科目）なので単位を落とすことのないように留意すること。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。 | | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | | |